

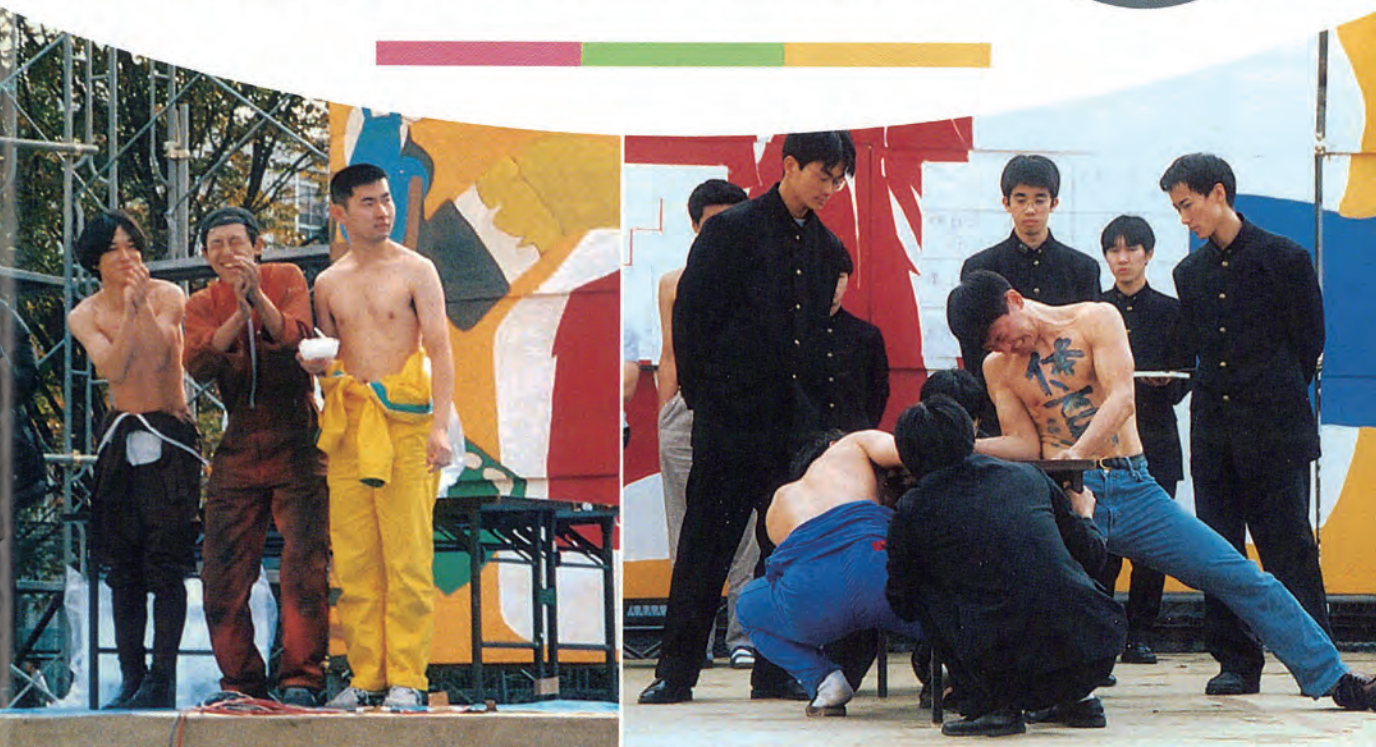
武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No.

15

1996-12



収穫の季

さあ、武蔵工大明神の祭りだ

大空に向けて、若さの爆発!

今、ここに第67回M.I.T.祭がある

「武蔵工大その名こそ我が青春の故郷なれ」



武蔵工業大学後援会 副会長

五艘 章

(41年土木卒 技術士)

▼昭和38年(1963)柏葉学舎最後の寮祭
(神興自由が丘駅前)



▼昭和39年(1964)武工大柔道部の富士での合宿

私の高校生活は東京オリンピックを目指して柔道一筋であったが3年の夏、腰を痛めその夢を断念した。そんな時に内村鑑三の著書「後世への最大遺物」に出会い「土木と教育こそが、人生最大の事業である」との教えに接する。厳冬の立山連峰、落差世界一の称名滝の凍てつく瀑布に濡れながら、「土木を人生の目標とする」事を決意した事が昨日の様に思い出される。

昭和37年春、武蔵工大に入学。当時の母校は八木総長のもと、故五島慶太理事長の壮大な遺志が実行され、原研、新教室、研究棟の建設が進み、空手部の全国制覇に刺激され「成せば成る」の活気が学校内に溢れていた。柏葉学舎に入寮し、約40人の寮生との共同生活は毎晩、焼酎に議論を戦わせ「自然と闘い生命を燃やす、我ら祖国の国造り～」の蛮声で自由が丘を闊歩したものである。小生が最後の柏葉寮長として山田学長の参加を得て廃寮式を開催した事が忘れられない。

一度あきらめた柔道を再開。当時の柔道部は工藤九段のもと3段7名、100名近い部員を擁する全盛期で、猪熊選手等、当時の日本選手権保持者等との練習に鍛えられる。小生は

1年次から正選手に抜擢され、3年次には主将を努める。入学時40名近い同期生も厳しい練習に卒業時には10名に激減。今年、思い出深い称名滝に同期の仲間が集結し、旧交を暖めた事が嬉しい。

前田建設に就職し、地下鉄、シールド工事等を歴任し、昭和59年度労働大臣優良賞を受賞する。昭和62年より7年間、東関東、横浜支店の土木部長として東京湾横断道路、ゴルフ場、ダム等の後世に遺る事業を指導し得たのも、学生寮、柔道部で鍛えられた事が大きく役立っている。

3年前、次男裕志が母校に進学し柔道部の主務を務めている事から後援会役員を拝命する。古浜学長を筆頭に全学挙げて学問だけでなく、クラブ活動育成に尽力されている姿に接し、心から敬意を表するものである。21世紀の技術革新には異業種技術の結集が不可欠であり、学生諸君には大いにクラブ活動に参加し人間力を鍛え、将来に備える事を希望するものである。

小生は今春から千葉県技術士会の技術アドバイザーに就任したが、生涯現役の技術士を目指し新たなる決意に燃えている昨今である。



午後1時より体育館で
行われた全席説明



古浜学長

平成8年度 東京地区 「父母との連絡会」密着取材レポート

夏休みに入ってから全国25カ所の会場で開催されてきた「父母との連絡会」。今年もその最終会場は武蔵工業大学キャンパスとなりました。当日参加されたのは東京、神奈川、埼玉、千葉のご父母を中心に約670名ほど。ここではその東京地区「父母との連絡会」の模様をレポートします。

すがすがしい秋晴れの空のもと キャンパスの雰囲気満喫

9月28日(土)、すがすがしい秋晴れの空のもと、東京地区「父母との連絡会」は行なわれました。受け付け開始時刻は11時ですが、参加されるご父母の皆さんは、その30分ほど前から続々と集まってきました。ご夫婦揃っての参加や、中にはお子さま同士が友人というグループも多く、体育館前の受け付けは和やかなムードです。

集まったご父母は30人程度のグループにわかれ、まず「学内見学」に出発します。実はこの学内見学は自由参加のプログラム。お子さまが日々のような環境のもとでキャンパスライフを送っているのかがうかがえるとあって、たいへんご好評を得ている企画です。手渡されるキャンパスマップを片手に、皆さん興味津々の面持ちで職員に率いられていきました。

学内見学の所要時間はおおよそ1時間ほど。「水素エネルギー研究センター」、「情報処理センター」、「残響室・無響室」……などなど、武蔵工大自慢の施設の数々は、たいへんご父母の関心を引いたようで、見学の途中、職員に質問を活発に浴びせかける光景があちこちで見られます。また時折ユーモアを交えながら説明する職員の奮闘もあり、皆さんこの学内見学の雰囲気をとても楽しんでいらっ



黒崎後援会会長



前橋就職連絡協議会議長

しゃるようです。

見学コースの最後は「学食」です。ここで学生が普段利用している学食の味を堪能してもらおうという趣向です。当日のメニューは、鶏の中華風唐揚げ定食。皆さん、この味とボリュームには大満足の様子。下宿生活をしている学生のご父母の方々も、きっと安心されたことでしょう。また、この昼食タイムの間、体育館ではマンドリンクラブによるマンドリンコンサートが催され、食事を終えたご父母の耳を楽しませていました。

武蔵工大の教育指導方針に 大きくうなずかれる姿も

午後1時からは体育館で、学長と後援会会長による挨拶と、就職連絡協議会議長による就職状況に関する説明が行なわれました。

古浜学長は「独創性をもった学生の育成に、より一層の力を注ぐ」というお話を中心に、武蔵工大の教育方針について説明されました。また、来年度に新設される武蔵工大初の文系学部「環境情報学部」の説明や、同じく来年度から工学部に増

設される3つの新学科、「機械システム工学科」、「電子情報工学科」、「エネルギー基礎工学科」の説明を通して、武蔵工大がこれから向かうべき方向についての明確な指針も提示されました。

続いて黒崎後援会会長からは、会の活動内容の報告、ならびに今後の予定についてのお話がありました。ご父母の皆さんは、より一層、後援会に対する理解を深められたようでした。

就職連絡協議会議長（電気電子工学科・曾禰教授）から、今年度の具体的な就職状況と、武蔵工大の就職指導についての説明がありました。「就職超氷河期といわれる今の時代にあって、武蔵工大生に対する企業からの評価は依然高い。これはいわゆる座学ではなく、研究センターの授業を行ってきた賜物。つまり本学は、社会に出てから難しい局面に遭遇しても、それに対処していけるだけの創造力をもった学生を育成しているのです」とのお話には、大きくうなずかれるご父母の姿も見られました。

この説明会のあとは、各学年・学科別の懇談会です。それぞれの会場となる教室へ分かれ、各学科の教育内容の説明や個人面談が行なわれました。

こうして、今年も夏休みに入ってから全国25カ所の会場で開催されてきた「父母との連絡会」は、この武蔵工大キャンパスで行なわれた東京会場で幕を閉じました。お子さまたちの日常に思いを馳せながら過ごす、キャンパスでの一日……。参加されたご父母の方々にとって、とても貴重な一日であったことでしょう。



◀受付：
女性職員の笑顔の対応で始まった受付業務も
定刻前にほとんど完了した。

▶水素エネルギー研究センター：
クリーンな水素エネルギーの実
用化に向けて研究がつづけられ
ている。



◀10号館：
機械、電気、土木、経営4学科
の実験室や研究室を擁する学内
の中心的存在。



▶情報処理センター：
スーパーコンピュータ、ワーク
ステーション、パソコンによる、
情報教育に関わる共同利用施設。



◀図書館：
蔵書23万余冊、資料は、一般教
養図書、専門図書と学生の希望
図書購入制度による図書等によ
って構成される。



▶五島記念館：
学内で1番美しい建物で（平成
6年完成）電子通信、電気電子
2学科の実験室と研究室がある。



機械工学科1年
野村聡一さんのご両親

学内見学では見所がいっぱい
武蔵工大は面白い大学なんです

工学系の大学ですから、見所が多くて、学内見学はとても楽しかったです。文科系の大学だとこうはいかないでしょう。とくに水素エンジンを使った自動車は興味深かった。職員の方の説明もユーモアたっぷりで、ちょっとした社会科見学気分を味わえました（笑）。
こうして学内のいろいろな施設をまわって見ると、武蔵工大は面白いことをやっている大学だな、とあらためて実感しました。実際はそうでもないのに、いまひとつ個性に欠ける大学のように思ってたんですよ。だから今後は、外部に向けて武蔵工大ならではの特色をどんどんアピールしていただきたいと思います。



経営工学科1年
長谷川誠さんのご両親

息子が学ぶキャンパス環境を
把握しておきたかったです

大学受験は完全に本人任せにしましたから、なぜこの大学を選んだのか？そして日々どんな環境のもとで学んでいるのか？そのあたりのことを親としてしっかり把握しておきたいと思って参加しました。将来、息子が自分の進路について悩んだとき、こちらに何の判断材料もなければ適切なアドバイスはできませんからね。
学内見学では、実際の授業風景まで見学できたら良かったですね。経営工学という学問についてはもちろん、パソコンに興味があるものですから、それをどのように授業に活用しているのかももう少し詳しく知りたかったです。

▶学科・学年別懇談会：
研究内容や学生生活の諸問題を
質疑応答の形式で和やかに行わ
れた。



◀マンドリンクラブ：
食後、体育館でマンドリンコ
ンサート、部員40名、日頃の
活動の現われか？質の高い演
奏を披露。



◀学生食堂：
9号館の1階と2階にあり喫茶室
や談話室を含む682席、ボリュー
ムたっぷりで品数豊富なメニュー。



▶B29エンジン展示：
第2次大戦末期横浜方面の空襲で
撃墜されたB29のエンジンが3号
館に展示されている。



◀掲示板：
大学から学生への連絡や伝達
は全てこの掲示板で行う。内
容は全学的告知から個人の呼
び出しまで様々。



経営工学科3年
田辺穂高さんのお父さま



学食の味と量はなかなかのもの
大食漢の息子も大満足でしょう

今回は初めての参加です。息子が卒業する前に、一度大学の雰囲気を見ておきたいと思っていて、やはり来てみて良かったですね。私は薬学系の単科大学を卒業したものですから、こうした広々としたキャンパスに憧れていたんです。周囲は閑静な住宅街ですし、しかもすぐ横に多摩川が流れているという絶好のロケーション。息子がちよつぱり羨ましく思えるくらいです。ここなら文句なく勉強に打ち込めることでしょう（笑）。

先程、学食で昼食をいただいたんですが、今の学生はいいものを食べてるんですね。安心しました。味といい量といい、私の大学の頃と比べものになりません。

参加された ご父母のコメント

経営工学科1年
森俊介さんのご両親



教育方針についてのお話には
大いに納得することができました

かなり前からこの日を心待ちにしていました。実は私の会社の同僚に武蔵工大のOBがいるんです。だから学内見学会が毎年開かれていることも、彼の口から聞いて知っていたんですよ。体育館での学長先生や就職指導担当の先生のお話は、私の考えと一致するところも多く、とても共感できました。とくに「研究を重視する授業が学生の独創性を育み、社会に出たときにさまざまな局面に柔軟に対応できるだけの能力を培う」というお話には大きくなぞくことができました。その言葉どおり、息子には自分の道を自分で切り開いていけるだけの男になってもらいたいと思っています。

機械工学科2年
宮田貴雅さんのお母さま、お姉さま



目的意識を持った学生の才能を
しっかり育んでくれそうですね

息子は家で大学のことをほとんど話さないんですよ。話したとしても、所属するサッカー部の話だけで（笑）。だから今日は興味津々でやってまいりました。

娘は文科系の大学を卒業したんですが、実はそちらにも学内見学に行ったことがあるんです。やはり雰囲気は全然違いますね。武蔵工大はいかに、研究者や技術者を育てる大学という感じ。目的意識をはっきり持った学生が学ぶ場所という気がしました。ひとつ気になるのが図書館の開館時間。6時間閉館はちよつと早すぎるような気がします。せめて8時くらいまで開いていたら、部活帰りの学生も利用しやすいのではないのでしょうか。

経営工学科1年
内藤純さんのお母さま（右）
建築学科1年
八巻裕和さんのお母さま（左）



充実した毎日が送れそうな
素敵な雰囲気の大学ですね

最近の若い人には珍しい、落ち着いた印象の学生が多いように思いました。大学のまわりも静かな雰囲気ですし、コソコソと何かをやり遂げるには、こういうキャンパス環境がいいのかもしれません。学内見学会では、職員の方や大学院の学生さんへ一生懸命説明してくださり、とても好感が持てました。（内藤さん）

入学以来息子は、勉強やサークル活動にと、端で見てても心配になるほど忙しく過ごしているんです。でも今日ここに参加して、活気のある研究室の様子や生き生きとした学生たちの表情を見て安心しました。きっと息子は、忙しくとも、彼なりに充実した日々を過ごしているんでしょうね。（八巻さん）

今年度の就職環境につきましては、ゆるやかな景気の回復にともなう、一昨年の「氷河期」、昨年の「超氷河期」を脱して「薄日」が射した状態となりました。

しかし、選考に際しての「厳しさ」は依然変わりありませんでした。

適性検査を始めとする筆記テスト及び数回に亘る面接で学生の資質、能力等鋭く見極められました。

こういった厳選採用の中においても、本学では10月上旬には、大部分の学生が内定を得ており、前年度よりも大企業への内定者が増加しました。また、業種の拡大も見

られました。これは学生が、例年以上に積極的な就職活動を行った結果が実を結んだというのが実際のところでしょう。

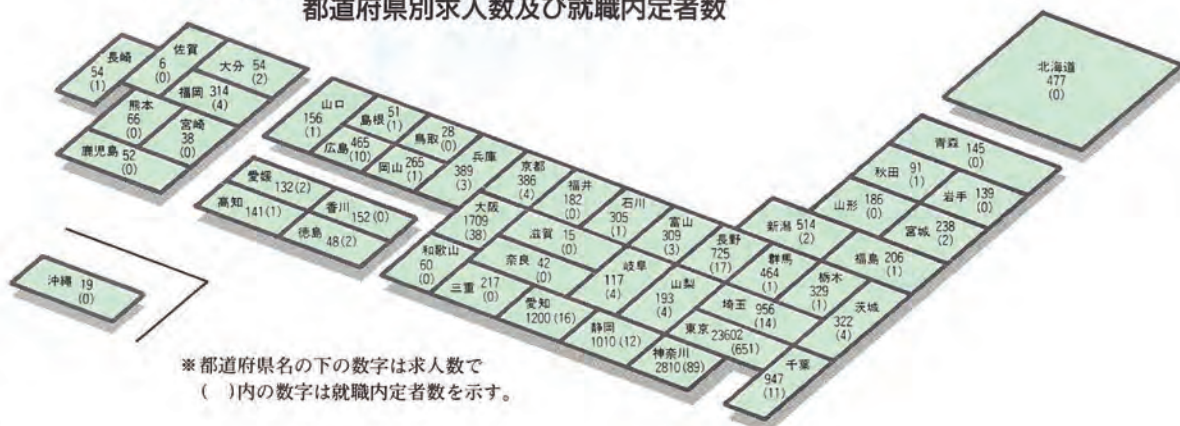
景気が回復傾向にあっても、なお先行きは不透明であり、今後も各企業は、不況に強い体質にする為にリストラを継続すると同時に、新規採用についても慎重に対応する企業が多く、大幅な雇用環境の好転が望めないものと思われます。したがって、工学部生としても、基礎知識・専門分野の習得は勿論のこと、就職活動に対する早めな準備と積極的な取り組み方が今後も一層必要です。

■平成8年度求人就職内定状況

(資料は平成8年11月1日現在大学就職課より)

項 目		就 職 希望者	就職者	就職率 (%)	求 人 企業数	1人当り の企業数	求人数	1人当り の求人数	進学希望	進学者
学科・専攻										
工 学 部	機 械 工 学 科	198	187	94.4	2,741	13.7	5,271	26.3	78	69
	電気電子工学科	102	102	100.0	2,903	28.4	5,582	54.7	78	68
	電子通信工学科	133	126	94.7	2,370	17.8	4,776	35.9	29	22
	建 築 学 科	84	75	89.3	2,244	27.0	4,692	56.5	53	32
	土 木 工 学 科	90	89	98.9	2,342	24.3	4,766	49.6	32	26
	経 営 工 学 科	154	147	95.5	1,933	12.3	4,083	26.1	23	18
	小 計	761	726	95.4	14,533	18.8	29,170	37.8	293	235
大 学 院 工 学 研 究 科	機 械 工 学 専 攻	33	33	100.0	975	29.5	1,837	55.6	0	0
	生産機械工学専攻	30	29	96.7	895	28.8	1,728	55.7	0	0
	電 気 工 学 専 攻	71	71	100.0	1,064	14.7	1,966	27.3	3	2
	建 築 学 専 攻	38	33	86.8	693	17.3	1,472	36.8	0	0
	土 木 工 学 専 攻	17	15	88.2	696	40.9	1,448	85.1	0	0
	経 営 工 学 専 攻	10	10	100.0	685	68.5	1,458	145.8	0	0
	原子力工学専攻	13	12	92.3	552	42.4	1,247	95.9	0	0
	小 計	212	203	95.8	5,560	25.7	11,156	51.6	3	2
	合 計	973	929	95.5	20,093	20.3	40,326	40.8	296	237

■平成8年度卒業見込者に対する 都道府県別求人数及び就職内定者数



■平成8年度就職内定先企業/ 資本金順上位50社

企業名	就職人数
日本電信電話㈱	12名
東京電力㈱	5名
中部電力㈱	1名
日本生命保険相互会社	1名
ソニー㈱	4名
㈱日立製作所	3名
㈱東芝	6名
三菱重工業㈱	2名
富士通㈱	2名
日産自動車㈱	1名
松下電器産業㈱	5名
東日本旅客鉄道㈱	5名
シャープ㈱	3名
日本電気㈱	5名
三菱電機㈱	3名
三洋電機㈱	1名
積水ハウス㈱	3名
キヤノン㈱	3名
東京瓦斯㈱	3名
日本アイ・ビー・エム㈱	2名
日本原子力発電㈱	1名
㈱デンソー	2名
大日本印刷㈱	1名
凸版印刷㈱	3名
京セラ㈱	1名
三菱マテリアル㈱	2名
大成建設㈱	3名
松下電工㈱	1名
㈱青木建設	2名
大和ハウス工業㈱	5名
旭硝子㈱	1名
本田技研工業㈱	6名
㈱熊谷組	7名
富士重工業㈱	1名
㈱長谷工コーポレーション	2名
㈱リコー	2名
清水建設㈱	5名
電源開発㈱	1名
日本通運㈱	1名
㈱常陽銀行	1名
沖電気工業㈱	3名
石川島播磨重工業㈱	1名
オムロン㈱	1名
スズキ㈱	1名
鹿島建設㈱	6名
㈱村田製作所	1名
ミネベア㈱	5名
いすゞ自動車㈱	3名
トステム㈱	2名
㈱フジタ	2名

■大学別・ミドル(部課長)ランキング

(データ:『週刊ダイヤモンド』/全国大学一覧・文部省監修・昭和60年度)

大学名	区分 国・公・私 総合大・単科大	大学規模		1994年(役員含む)			
		昭和60年 5月現在 (→注1)	順位	B 総人数	B/A 輩出指数	指数 順位	
早稲田大学	私・総	8	8,560	1	13,459	1.57	8
慶應義塾大学	私・総	6	4,940	2	12,684	2.57	4
東京大学	国・総	10	3,063	3	10,248	3.35	1
京都大学	国・総	9	2,536	4	6,815	2.69	3
日本大学	私・総	15	13,700	5	6,761	0.49	
中央大学	私・総	10	5,830	6	6,462	1.11	
明治大学	私・総	11	6,290	7	5,791	0.92	
大阪大学	国・総	10	2,115	8	3,984	1.88	5
東北大学	国・総	10	2,229	9	3,872	1.74	6
九州大学	国・総	10	2,150	12	3,579	1.66	7
東京工業大学	国・単	2	836	18	2,266	2.71	2
名古屋工業大学	国・単	2	1,040	25	1,337	1.29	10
武蔵工業大学	私・単	1	790	31	1,223	1.55	9
東京理科大学	私・単	6	2,890	32	1,175	0.41	
芝浦工業大学	私・単	2	910	33	1,143	1.26	
東京電機大学	私・単	3	1,400	35	993	0.71	
工学院大学	私・単	2	1,070	37	940	0.88	

注1. 大学規模は臨時定員増の影響の少ない昭和60年度とする。

注2. 「輩出指数」= B総人数÷A学則定員。

注3. 順位は週刊ダイヤモンドの順位。指数順位は掲出大学内での順位。

注4. 1994年は「役員+管理職(部課長)」の人数。

■就職・進学活動スケジュール

学年 進路先	1・2年生 (就職か進学かを考える)	3年生 (進路についてより具体的に考える)	4年生 (就職進学活動の本番です)
公務員等	4~6月 ●公務員受験模擬試験など 12月 ●公務員受験講座など 2~3月 ●公務員受験模擬試験	4~6月 ●公務員受験模擬試験など 11月 ●公務員ガイダンス 12月 ●公務員受験講座 2~3月 ●公務員受験模擬試験	4~6月 ●公務員受験模擬試験 ●試験開始
民間企業	自分の適性に基づいて家庭で協議	4~5月 ●就職適性検査 ●一般常識模擬テスト 11~12月 ● 10~11月 ●就職ガイダンス ●就職講習会(リターンガイダンス) 2~3月 ●資料による企業研究	4~5月 ●就職ガイダンス ●就職講習会(リターンガイダンス) ●就職適性検査 ●一般常識模擬テストなど 4~6月 ●学内での希望調査および推薦者決定 7月 ●推薦書発行 10月上旬 ●結果通知 ●学内での採用内定報告手続
本学大学院進学		5月 ●進学予定者対象の進学説明会 ●図書館などで大学院の各専攻内容や入試問題等を検討	5月下旬 ●進学予定者対象の進学説明会 6月 ●指導教授との面接 推薦入学候補者の決定 8月 ●学生募集要項入手・願書提出 9月 ●第1次入学試験 2月 ●第2次入学試験
他大学大学院 (海外留学)		●他大学または留学先より資料を取り寄せ情報収集活動	4~5月 ●指導教授と相談の上、 進学先の検討 9月 ●入学試験(大学の要項)

絵で見る キャンパスSPOT ③

情報処理センターの巻

武蔵工大における情報処理教育の中心になう

全学科の学生を対象に行われる情報処理教育はもとより、各学科の専門教育や研究活動、さらに個人の卒論制作にも利用される情報処理センター（15号館）は、武蔵工業大学の中核とも呼べる施設です。スーパーコンピュータをはじめ、ワークステーション、パーソナルコンピュータなどが設置され、学内ネットワークはもちろん東京大学の大規模計算機センターなどの学外研究機関へも、学術情報網およびTRAIN（東京地域アカデミックインターネットワーク）によりアクセス可能。この情報環境の充実ぶりは全国の大学の中でもトップレベルと言えるでしょう。



■事務室／授業登録はもちろん、学内に張りめぐらされたネットワークへの接続申請手続きなどの事務および管理をする部署です。またコンピュータに関する豊富な知識を備えた技術員も常駐し、授業を行う先生方への技術的なサポートをしたり、卒論制作中の学生からの質問に応じております。

■研究室／現在ここに籍を置いているのは卒論制作の学生が8人と、大学院生が3人。松山実教授（電気工学専攻）と横井利彰助教授（電気工学専攻）のもとで、日々研究活動に従事しています。他の研究室と違い、どの学科の学生も受け入れているのが特徴です。

■電子計算機室／情報処理センターの“頭脳”とも言える部屋です。256MBの主記憶容量を誇る「スーパーコンピュータFUJITSU VP2100」がここに設置されています。もちろんセキュリティは万全で、特別なことがない限り学生はここに立ち入ることができません。

■第1TSSルーム／情報処理センターのコンピュータを、4年生や大学院生が研究目的で利用しています。時々ゲームで遊んでいる人も見かけますが、あくまでもハードな勉強の合間の息抜き(?)なのです。

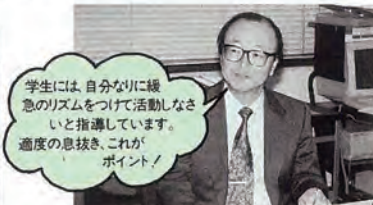
■第2、3TSSルーム／全学科の低学年を対象にした情報処理センター開講の情報処理基礎科目の授業がここで行われ毎回好評で、常に100%近くの受講率となっています。その他、各学科開講の高学年対象の情報関連科目や語学の一部の授業も行われています。授業のない時は、学生が自由に利用できるように、いつも賑わっています。



▲研究室は、みんなの気配りで、とても清潔？



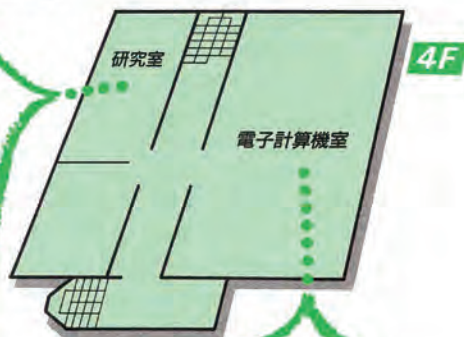
▲ここは、いつも清潔なところが自慢、と語る森本秀次君（電気4年・右）と鈴木雅也君（電気4年・左）



▲松山教授はセンター設立当時から指導に携わっており、学生たちからは、その温厚な人柄で親しまれています。



▲コンピュータは好きだけど、決してボクらはオタクじゃない、と力説していた横田智文君（通信4年・右）と川井亮人君（電気4年・左）



▲情報処理センターの心臓部
スーパーコンピュータFUJITSU-VP2100（主記憶256MB）



夢中になることは、
皆さん、ここにきて、見て
触ってください。
ただし清潔な人のみ!



▶ センター内の案内役を引受
けてくれた、大学院生の森屋
之君(電気M2)。研究室で
セキュリティに関する研究を
しています。



▶ 学生と笑顔で対応する、事務の徳
城久子さん。



▲ 学生たちからは「困ったときのお助け
オジサン」的存在とされています。
と技術員の石原靖夫さん。

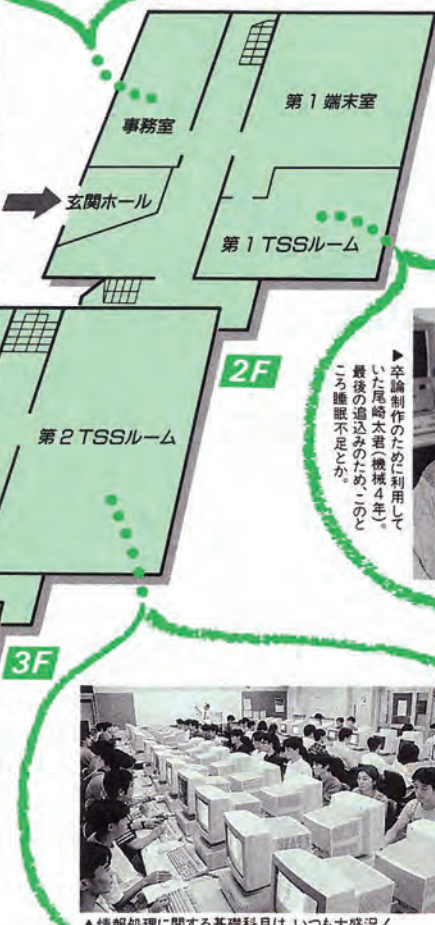


▶ 安全管理のため、センターの所々に
設置されている監視カメラ。



▶ この匂い、コキブリなどが集ま
り、回路事故の危険があるため、
飲食物の持ち込み禁止

飲食物持ち込み禁止



▲ 研究指導に当たる横井助教授



▶ 卒論制作のために利用して
いた尾崎太君(機械4年)。
最後の追込みのため、この
ころ睡眠不足とか。



▲ 情報処理に関する基礎科目は、いつも大盛況!



▶ 廊下にある学生からの
要望や意見を聞くための
投票箱。



▲ ジョン・ロバート・ブラウン先生のユーモアを交え
た説明で大いに盛り上がる英会話の講義



クラブ活動紹介-14

体育会に加盟する部の中で創立がいちばん古い「柔道部」と、学内最大のイベント、
M. I. T. 祭のすべてを執り仕切る「M. I. T. 祭実行委員会」。武蔵工大における
課外活動の“顔”とも言える両団体を訪れ、その活動内容をレポートします。



▲応援に駆け付けてくれた、OBの方と部員たち

伝統ある柔道部、その自負心が気迫の練習につながる!

本学を会場に行われた、関東理工科四大学柔道大会

10月20日(日)、武蔵工業大学柔道場を会場に、「第28回関東理工科四大学柔道大会」が行われました。出場するのは、武蔵工業大学、東京理科大学、法政大学工学部、東京電機大学の四大学。母校での開催ということで、たくさんの武蔵工大柔道部OBが応援に駆け付けています。

試合は7人制の団体戦でリーグ戦方式で進められます。武蔵工大の今大会出場メンバーは、先鋒／塚本隆太郎君(電気1年・初段)、次鋒／大島庸嘉君(機械4年・弐段)、五将／内田京助君(建築3年・参段)、中堅／山口裕昭君(建築3年・弐段)、三将／岡村真介君(電気3年・初段)、副将／稲井精彦君(電気4年・参段)、大将／五腹裕志君(土木3年・初段)です。

初戦の東京電機大学戦では、岡村君の背負い投げ、稲井君の一本背負いが炸裂。結果は3勝1敗3引き分けで、見事に勝利を収めることができました。続く法政大学戦でも塚本君の背負い投げ、大島君の大外刈り、山口君の片羽絞め、稲井君の横四方固めなどが決まり、4勝1敗2引き分けの大勝利。とくに1年生部員の塚本君の背負い投げは切れ味が鋭く、周囲からどよめきの声があがるほどでした。

そしていよいよ昨年の優勝校、東京理科大学との試合です。両大学ともにここまで無敗のため、これが事実上の決勝戦。学生数の多さから、圧倒的な層の厚さを誇る東京理科大学を相手に、積極的に技をしかけていく武蔵工大の部員たち。彼らの奮闘ぶりに、「技を連続で出せ!」「一発であきらめるな!」など、OBから力のこもった檄が送られます。しかし結果は、残念ながら5敗2引き分け。武蔵工大の今大会成績は2位となりました。

閉会式の後には、各大学の部員たちが入り交じって行う恒

例の乱取り稽古です。いつもと違う相手と技の掛け合いをすることは、技術の向上に非常に役立つもの。誰もが積極的に組み手を見つけて、技の掛け合いを行っていました。

今大会では惜しくも優勝を逃した柔道部。しかし充実した試合内容や、1年生部員でありながら塚本君が優秀選手賞を獲得したこと、などなど、部員たちにとって大きな手応えのあった一日だったのではないのでしょうか?



▲優秀選手賞に輝いた塚本君

道場を出ればごく普通の大学生。

しかしいったん道着を身に纏うと……

関東理工科四大学対抗柔道大会の2週間後、普段の練習ぶりや部内の雰囲気についてうかがうために、柔道部にお邪魔しました。今日の練習はお休みらしく、皆さん柔道着ではなく私服。こうしたスタイルだと、どこにでもいるごく普通の大学生に見え、大会で勇ましく戦っていた猛者た



▲自称「柔道界の賢い稲妻」の内田君

ちとはまったく別人のようです。主将の内田君によれば「他の大学を見れば山のようなガタイをした柔道部員もいますが、ボクたちは中・軽量級ばかり。だから柔道着を脱ぐとどこの部かわからなくなってしまふんです」とのこと。実

柔道部

顧問：皆川 勝 助教授

主将：内田京助(建築学科3年)

部員数：12名(内女子1名)



▲「あっ/やばい、そこだ…」試合を見守る控え選手



▲五艘君(左)、投げるか、投げられるか?



▲次の瞬間、山口君の投げが…?

際、1年生の富山浩宇君(建築1年・初段)が初めて部室を訪れたときも「空手道部の人かと思った」そうです。

柔道部の活動日は月、水、金、土の週4日。それぞれ2時間づつの練習で汗を流しています。とくに水曜日には飯塚明師範もお見えになり、気合いの入った練習を繰り広げているとか。

「普通、大学の柔道部の師範となるような人は、高齢の方が多いんです。だから直接指導いただくことができないケースが多い。その点、飯塚師範はまだ40代。自ら手合せしていただけるので、とても勉強になります」(稲井君)



▲さわやか格闘マニアの富山君



▲慕われ(?)、頼れる前主将の稲井君

2時間×週4日という練習時間は、それほど多い練習時間ではありません。しかし他の大学に比べてレポートや課題が多く、授業もぎっしり詰まっている彼らにとって、これ以上の時間を捻出するのは至難の業。だから、普段の練習では、いかに短い時間の中で効果的な練習ができるかという点を、最重要課題として捉えています。

こうした練習の成果は最近になってしっかり形となって現われているようで、彼らにとって最大の目標である「全日本理工科大学大会」において、昨年は第3位、一昨年は準優勝の成績を残しています。主務の五艘君は次のように言います。「一昨年の準優勝は32年ぶりの快挙。実はボクの父親(五艘章氏・現後援会副会長)も武蔵工大柔道部員だったんですが、その頃にも一度、準優勝の経験があると聞いています。だからそのニュースに父親が喜んだのなんの(笑)」

今年の全日本理工科大学大会では、惜しくも2回戦で敗退してしまいましたが、充実した練習内容により、武蔵工



▲部内の「縁の下」の力持ち・五艘君

大柔道部がいつでもトップを狙えるだけの力を貯えたきたことは確かなようです。

最初はスブの素人でも、いつしか立派な戦力に

伝統的に初心者を迎える雰囲気がある……これも武蔵工大柔道部の大きな特長。毎年必ず2〜3人の初心者が入部してくるそうです。

「試合に勝つことはもちろん大切なことだけど、うちはそれ以上に、卒業までに一人ひとりがどれだけ上達するかで、重点を置いているんです。だからスブの素人でもやる気さえあれば大歓迎」(内田君)

実際に初心者で入部した人の意見を聞いてみました。「高校時代は陸上の投てき競技をやっていました。砲丸や円盤を投げることに自信があったんで、人間を投げ飛ばす柔道でもけっこういけるんじゃないかと思って(笑)。考えが甘かったようですが、心身ともに鍛えることができたし、柔道部に入って良かったと思っています」(中村俊就君・経営2年・初段)。「普段はわきあいあいとしていても、いざ練習を始めるとみんな真剣。内容も思



▲自称「元祖努力家」の中村君



▲産地直送「九州男児」の浦田君

っていた以上にハードで、最近やっと身体が慣れてきたかなという感じなんです」(浦田智志君・土木1年)

まったくの初心者で入部しても、在部中に必ず段位を取得し、また4年生になるまでにはレギュラーメンバーとして活躍するだけの力を備えることができるとか。これもまた、彼らが日々、いかにしっかりと練習をこなしているかを物語るエピソードでしょう。中には「勉強でたとえ徹夜しても、練習には絶対出る」と答える人もいました。

一見わきあいあいとした雰囲気に見えても、根っこの部分にはしっかり「体育会系魂」を備えている柔道部。武蔵工大のクラブの中で、ていねい古い歴史を持っているのは伊達ではないのです。

祭のすべてを作り上げていくプロ顔負けのイベンター集団



▲来賓の応待で忙しいM.I.T.祭当日の実行委員会本部



合せ、講演者へのテーマ出し、出店状況の把握、ステージイベントの構成、パンフレットやポスターの作成、企業を回っての広告集め、大学側との折衝、当日の管理体制の見直し……。彼らの仕事は驚くほど多岐にわたっています。このすべてをわずか20名ほどの委員で行うことを考えると、時に泊り込みとなってしまうこともうなずけます。

「普通の大学生活を送ることに比べれば、断然、毎日が充実してる。だからそれほど苦痛じゃないんです。むしろ忙しさを楽しんでるって感じで」と、管理部長の高木寛之君(土木3年)。また吉田美聡さん(通信1年)も「高校でも学祭実行委員会にいたんですが、普通これだけ忙しいと、誰かがカリカリしてたりするもの。ここにはそれが無い。みんながみんな、他人の気持ちにたって行動してるからでしょう。そういった意味ではプロ集団ですね」と言います。



▲気配り男の高木君



▲紅一点/でもキレ者の吉田さん

忙しい毎日を楽しむ気持ちと、強いチームワーク。なるほどこのあたりが、M.I.T.祭直前という状況の中でも彼らが和やかさを失わない秘密かもしれません。

いまの若者の主張に耳を傾けて……

そんな願いを込めたメインテーマ

「アピール。」……これが今年のM.I.T.祭のメインテーマです。この言葉に込めた思いについて、松本君は次のように説明します。

「最近の若者は主張がないと言われています。ボクらは今の若者たちが主張を持っていないとは思わない。主張の仕方を知らなかったり、あるいは昔の若者とは主張の方法が違うだけなんだと考えます。だからこのM.I.T.祭が、若者の主張の場となるように、また“かつての若者”とも大いに意見を交換しあう場になればと願っているんです」

来場客が少なくても武蔵工大生たちのせっかくのアピール

忙しさやプレッシャーは、チームワークでカバー

“大学の華”といえ、言わずと知れた大学祭のこと。武蔵工業大学では学祭のことを「M.I.T.祭」と呼んでいます。単科系大学では珍しく、毎年4日間という長さで実施。企画や模擬店の充実ぶり、さらに盛り上がりの派手なところにも定評があり、毎年6000人以上もの人出で賑わいます。M.I.T.祭のすべてを執り仕切っているのがM.I.T.祭実行委員会(以下、M実)の面々です。

取材に訪れたときは、M.I.T.祭を約3週間後に控えるという状況。本番間近ということで、さぞプレッシャーでピリピリしてるかと思いきや、皆さん意外にも和やかな雰囲気です。

「何が忙しい? そりゃあもうなんでもかんでも(笑)。まだまだ煮詰めなくちゃいけないところがいっぱいあるし、これから本番までは週7日という活動ペースになりそう。休日返上です」と語るのは清水健史君(土木3年)。彼はM実の企画部長を務めています。

ちなみにM実には企画部、広報部、管理部の3つの部署があり、委員たちはそれぞれ好きなセクションに所属して各々の活動に従事しています。M実の最高責任者、委員長を務める松本裕嗣君(土木3年)も次のように言います。「後期の試験が終わってからはずっとこんな調子。授業が終わったらすぐに委員会室や談話室に集まり、毎日遅くまでなんやかんやしてます。今年もきつと、直前になったら泊り込みでしょうね」

出演をお願いしているタレントやアーティストとの打ち



▲4時45分からの男……清水君



▲みんなの期待を独り占めの松本君

M.I.T.祭実行委員会
顧問：皆川 勝 助教授
委員長：松本裕嗣(土木工学科3年)
部員数：23名(内女子1名)



▲手作り屋台は、味は上々、アイデアの宝庫!! ▲



▶企画の勝利！
メインステージは、
いつも爆笑と拍手



ルがムダになってしまうということで、今年は宣伝活動にも余念がありません。

「大学近くに住む方々には新聞の折り込み広告で告知し、より一層の参加を呼びかけています。その折り込み広告を持って来場してくれた方には、武蔵工大特製のM. I. T. グッズを差し上げるなどの特典も付けるんですよ」

と言うのは広報部長の那須幸一君(土木3年)。さらに、宣伝カーで若者の集まる渋谷などに繰りだし、一人でも多くの参加者を集めるつもり、と気合いが入っています。

もちろん、企画モノのクオリティには例年にも増して自信があるとか。「とくに後夜祭の花火に期待してください。

ディズニーランドで使ってるくらいのものを多摩川のほとりにドッカーンと打ち上げる予定です。ステージイベントも充実。今年は1年生が多いですから、彼らのフレッシュな脳味噌がひねりだす企画は必見ですよ」(清水君)

イキイキと語る彼らの表情を見ると、今年で第67回を数えるM. I. T. 祭が、例年以上にエキサイティングなイベントとなることは間違いない、と思えてきました。



▲「いつも悩んでナヘス」那須君

参加する立場じゃ物足りない
催す側にこそ学祭の醍醐味はある

大学最大のイベントだけに、年間を通してスケジュールがびっしり詰まり、なおかつ開催直前の何週間かは休みも返上で活動しなければならないというM実。20名のメンバーたちは、なぜこの仕事に青春を賭けようと思ったのでしょうか？ メンバーに聞いてみると、まず目立ったのが、「ダラダラと高校時代を過ごしてしまった反省ですね。なにか大きなことをやってみたくなったんです」(井出真大君・通信1年)、「授業が終わったあと、バイトに直行するだけの生活にストレスを感じてしまっ」(足立圭介君・通信1



▲明日のM実には井出君なしでは…

年)といった意見。

もちろん、何もないところからすべてを作り出していくという、M実のクリエイティブな部分に大きな魅力を感じてる人も多いようです。「ボクは2年になってから入りました。それまで体育会系のクラブに入っていたんですが、M実に入ってる友達の話聞いてるうちに、とても面白そうに思えてきて。スポーツで得られるものとは、また一味違った達成感があるんじゃないかと思えたんです」(太原靖一郎君・土木3年)、「ステージ企画などで、自分なりの表現が思いっきりできるというところがいい。基本的にでしゃばりなんじゃないですか？ 普段は物静かでないヤツなんです(笑)」(小澤公君・通信1年)



▲只今参上！広報のホープ足立君



▲風船大好き人間、太原君



▲いよ／出世頭／の小澤君

中には「イベントがもともと好き。実は入学前から大学で学祭の実行委員会に入ろうと固く決意していました。将来もイベントや広告系の仕事を希望しています」(松本君)、「コンサートのPAの仕事に興味を持っています。だからその仕事に少しでも関連のある活動がしたいと思ってここに入会。放送会でも良かったんですが、よりライブでイベント性の高い世界でやってみるのも面白いかなと思って」(吉田さん)というプロ志向の人も少なからずいます。

いずれにしろ、「入って良かった」と言うのが、すべてのM実メンバーに共通する意見。とくに松本君の「学祭を120%楽しもうと思うなら、参加する立場ではなく、催す側に回るべし。3年間活動してみて、強くそう思います」という言葉が印象的でした。

"キャンパストピックス"

■大学と学生との懇談会が開かれる

去る10月30日(木)午後、学生部委員会主催による“大学と学生とのこんだん会”が開催されました。テーマは「武蔵工大いいところ、わるいところ言いたい放題」というもので、このユニークなテーマで60名程の教職員はじめ学生が参加しました。始めに、中添学生部長が「従来のこの種の会にあるような、要求、意見の押し付け合戦はやめて、学生が日頃大学に対して思っていることを言い、意見を出し合い、それを生かせるような場にしたい」と挨拶され、その後活発な意見が交換されました。やはり学生の話題の中心も、新学部の話を含めた総合大学化についてが多く、そこから教育内容、課

外活動、フレッシュマンキャンプ等と多岐にわたり、約2時間の懇談の場となりました。参加した教職員も学生の意見を受け、「大きな収穫になった」とのこと。「今後は今回でた意見を各分野で検討し、またこのような会を継続的に続け、大学のさらなる発展を目指したい」と言うことです。



■課外活動短評

【ラジオクラブ】4月に行われた第38回ALLJAコンテストにおいて、社団局B部門66局中全国第8位に入賞した。

【自動車部】6月に行われた全関東学生ダートトライアル選手権大会に出場した結果、総合8位に入賞し、全日本学生選手権大会へのシード権を獲得した。

【バドミントン部】10月に行われた関東理工学生選手権において、女子シングルスで池成麻由美さん(土木2年)が優勝、男子シングルスで高野大輔君(通信2年)が準優勝を果たした。また、9月から行われた関東学生秋季リーグ戦では4部で男子が優勝を果たした。

【アイスホッケー部】春の関東大学選手権Dグループで優勝、東京都理工系リーグ戦でも優勝したア

イスホッケー部は、10月に行われた関東大学秋季リーグ戦においても5部で優勝し、12月の入替戦で4部昇格を果たした。

【ラグビー部】春の関東理工系リーグ戦で優勝したラグビー部は、9月から行われた全国地区対抗戦関東1区予選においても優勝し、1月の全国大会への出場権を獲得した。これにより2年連続の全国制覇にチャレンジすることとなった。

【バレー部】9月から行われた関東大学秋季リーグ戦において7部で優勝し、入替戦の結果6部に昇格することとなった。

【卓球部】8月から行われた関東学生秋季リーグ戦において5部Bブロックで優勝し、入替戦の結果4部昇格を果たした。

■平成8年度第2回文化講演会に田中康夫氏



学生の教養教育の一助として、毎年数回催される文化講演会は、学内でもすっかり恒例の行事となりました。今年度の第2回は、

大学の付近を歩いていたところを文化講演会担当の先生に声を掛けられたと言う田中康夫氏の登場となりました。「なんとなく、クリスタル」で80年代を代表する作家である氏の講演タイトルは「恋愛も、ボランティアも」。昨年神戸を襲った阪神大震災で、初めてボランティア活動に参加した氏が体得した様々なエピソードを予定時間を30分以上も越えて熱心に語られ、盛況のうちに終わりました。ちなみに、平成7年度は永六輔氏、山田洋次氏、佐高信氏、霍見芳浩氏、平成8年度は嶋信彦氏を迎え、大変好評を博しています。

■後援会緊急奨学金後期採用者

去る12月7日行われた平成8年度後援会緊急奨学金後期採用者選考委員会において、慎重審議を行った結果、次の2名が奨学生として採用されました。

- ・建築学科1年 中村幸紘（半額）
- ・機械工学科3年 佐藤祥司（半額）

■モラルの向上を願ってクリーン作戦

現在、学内で問題になっていることの一つに、煙草の投げ捨てや食器類を放置するなどのモラルの低下があげられています。特に、天気の良い日に屋外で、楽しそうに食事をとっている学生を見かけるのは気持ちの良いものですが、そのまま食器を置き去りにしてしまうため、あちこちから苦情が聞かれます。この様な現状を見かねた体育会本部が立ち上がり、前期中傘下の全団体を指揮して地道なクリーンキャンパス運動を展開してきました。また、後期からはこれを受け、学生団体連合会（学生のクラブの本部）が先頭に立ち、クリーンキャンパス運動を引き継ぐこととなりました。一般学生も参加できるこの活動は、9月～12月までの週4日、昼休みを利用して学内をまわり、ごみを拾ったり、食器を片付けたり、また食器を放置しないよう注意を喚起するというもの。学内の全ての人が快適できれいな環境で過ごせるよう、一人ひとり気をつけたいものです。



〔空手道部〕8月に行われた全日本空手道大会において男子有段組手（重量級）で鈴木孔明君（経営1年）が優勝した他、男女とも多数上位入賞を果たした。同君と神山千寿さん（経営2年）は3月にイタリアで行われる世界選手権の出場候補者となっている。

〔弓道部〕9月から行われた東京都学生弓道連盟リーグ戦においてⅣ部Bブロックで優勝を果たした。また、この大会で20射皆中を2試合で成し遂げるなどの活躍をした堀河宏明君（建築2年）は、学生弓道の中で最も権威のある東西学生弓道選抜大会へ本学から初めて出場を果たした。

〔洋弓部〕10月に行われた理工系新人戦において、山本修司君（土木1年）が2位入賞を果たし、ま

た、30m距離賞（1位）も獲得した。

〔ソフトテニス部〕6月に行われた関東学生春期リーグ戦において11部で優勝し、入替戦の結果10部に昇格を果たした。

〔ハンドボール部〕4月から行われた関東学生春季リーグ戦において3部で優勝し、その結果8月に金沢で行われた東日本インカレに出場を果たした。

〔特別団体(カヌー)〕9月に行われた、第51回国民体育大会夏期大会カヌー競技において、星栄介君（経営3年）が、成年男子スラロームカヤックシングル15ゲートにおいて優勝を果たした。なお、同君は今期ドイツ、チェコスロバキア、ブラジルで行われたワールドカップに出場を果たす他、国内の数々の大会でも優勝を飾っている。

平成8年度「大学と父母との連絡会」について

平成8年度の「大学と父母との連絡会」7月14日(日)の沖縄県那覇市を皮切りに、9月28日(土)の東京地区までの間、全国25会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には会の運営等にご協力いただきました。

■平成8年度「大学と父母との連絡会」出席状況

開催地	開催日	会場名	対象県	対象者数	出席者数	出席率	平成7年度
函館	9月14日(土)	ホテルJALシティ函館	北海道	57名	17名	29.8%	31.8%
札幌	9月15日(日)	札幌ステーションホテル					
秋田	9月14日(土)	ホテルパールシティ秋田	秋田	22	9	40.9	48.1
			青森	8	0	0	0
			岩手	19	5	26.3	15.8
仙台	9月15日(日)	ホテルサンルート仙台	宮城	37	20	54.1	51.2
			山形	19	6	31.6	31.8
郡山	9月15日(日)	郡山ビューホテルアネックス	福島	53	16	30.2	47.3
宇都宮	9月14日(土)	ホテルフェアシティ	栃木	68	23	33.8	26.4
水戸	9月13日(金)	三の丸ホテル	茨城	125	31	24.8	20.9
東京	9月28日(土)	武蔵工業大学	東京	1,043	154	14.8	14.4
			神奈川	1,516	203	13.4	15.2
			千葉	301	32	10.6	12.0
			埼玉	318	49	15.4	14.4
高崎	9月8日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	群馬	68	16	23.5	25.8
新潟	9月7日(土)	ホテルイタリア軒	新潟	47	13	27.7	27.3
松本	9月7日(土)	ホテル新升	長野	124	32	25.8	27.0
甲府	9月8日(日)	古名屋ホテル	山梨	68	24	35.3	30.0
富山	9月7日(土)	第一イン富山	富山	43	12	27.9	24.3
金沢	9月8日(日)	金沢都ホテル	石川	41	13	31.7	35.6
			福井	14	3	21.4	25.0
静岡	9月7日(土)	静岡商工会議所	静岡	235	65	27.7	29.8
名古屋	9月8日(日)	丸榮カーネーションセンター	愛知	65	20	30.8	31.4
			岐阜	24	5	20.8	20.0
			三重	22	3	13.6	18.2
大阪	9月9日(月)	大阪第一ホテル	大阪	16	5	31.3	8.3
			滋賀	6	0	0	0
			京都	10	2	20.0	16.7
			奈良	5	0	0	37.5
			和歌山	9	0	0	0
			兵庫	13	5	38.5	28.6
岡山	8月30日(金)	岡山東急ホテル	鳥取	4	0	0	0
			岡山	21	3	14.3	40.0
広島	8月31日(土)	三井ガーデンホテル	広島	53	11	20.8	32.7
小郡	9月1日(日)	ホテルみやけ	山口	18	7	38.9	43.5
			島根	14	2	14.3	13.3
高松	9月1日(日)	高松東急イン	愛媛	20	2	10.0	15.8
			香川	12	4	33.3	36.8
高知	8月31日(土)	高知ワシントンホテル	高知	25	15	60.0	45.8
			徳島	15	4	26.7	15.4
福岡	9月1日(日)	ホテルステーションプラザ	福岡	58	27	46.6	39.7
			佐賀	9	2	22.2	37.5
			長崎	8	2	25.0	50.0
			大分	20	2	10.0	38.5
鹿児島	8月31日(土)	チサンホテル鹿児島	熊本	8	4	50.0	66.7
			宮崎	18	5	27.8	13.0
			鹿児島	18	8	44.4	18.8
那覇	7月14日(日)	かりゆしアーバンリゾート那覇	沖縄	23	15	65.2	55.0
合 計				4,740	896	18.9	19.9